

質問：こんにちは、ダンススポーツ講習会のことで質問をさせていただきたくメールしました。

参加される方は、経験者の方が中心になるのでしょうか。社交ダンスは経験がなく、初心者で参加される方はいるのか、可能なのか教えていただけたらとおもいます。

回答：次の講習会は、9月14日(日)開催のジャイヴ&ヴェニーズワルツとなっております。

ただいまの時点で予想されますのは、殆どの参加者がダンス経験者となる見込みです。

但し、日本での「ダンス経験者」の多くが、ジャイヴとヴェニーズワルツを学ぶ機会はなかなか無い現状ですので、経験者と一口に言いましても殆どの方々がある意味この2種目に関しては「初めて」とであると推察いたします。

世界大会(WDSF 主催)で戦われる種目としましては、スタンダード5種目、ラテン5種目があります。(合わせて Ten Dance と呼ばれます)。スタンダード⇒ワルツ・タンゴ・スローフォックストロット・クイックステップ・ヴェニーズワルツ
ラテン⇒ルンバ・チャチャチャ・サンバ・パソドブレ・ジャイヴ の計10種目です。

日本のダンス界で最も大きな組織である JDSF (日本ダンススポーツ連盟)では、ダンスを習う最初の種目は、ルンバ、チャチャチャ、ワルツ、タンゴが主であり、愛好者の域を抜けますと競技選手となる方々も出て

まいます。その中で、サンバ・スローフォックストロット、次に、パソドブレ・クイックステップがまず必要になってくるのですが、最上級のA級戦に出場し、その中で準決勝以上に残る選手たちは、ジャイヴ、ヴェニーズワルツが最終種目に必ず入ってきますので、この2種目が必要になるのですが、現実として、A級選手の方々でも、準決勝以上に残る実力を持たない時点では、なかなか取り組む機会が無いのが実情です。

本音のところを申し上げますと、未経験者では、9月14日の講習会は少々難しいかな、とは思いますが、質問者さまが、日常から何らかの運動をなさっておられ、身体を動かすことに慣れていらっしゃる場合は、参加者の皆さまと近い感じで受講も可能ではないかと考えます。

さてジャイヴ&ヴェニーズワルツ講習会開催を企画するに至ったきっかけを少しお話しますと、以前、海外で何度か参加したダンスパーティー(タイのバンコク)でのことでしたが、20代・30代(少数)~50代・60代・70代(多数)~80代(少数)のダンス愛好者の方々が、それぞれにお気に入りのプロのコーチーを伴って踊る中、日本人が躊躇するジャイヴもヴェニーズワルツも難なく自然に楽しそうに踊っておられた様子を見て衝撃を受けたことでした。

確かに、バンコク市内のダンス練習場に参りますと、10種目を満遍なくレッスンしている人々の様子を見ることができ、その時、「なぜ私達日本人はこの2種目をパーティーで踊れないのだろう？」ととても残念に思っていたのでした。

多くのダンス愛好者の人々にとって、「J&V は、上級者になってから習う種目である」「若い人でなければ踊れない」「愛好者が手出しできる種目ではない」という思い込みによって、自分で自分の可能性を否定していたのだな、と思い至ったのでした。

県北地区連盟及びその下部組織の日立市連盟では、今年度から一人でも多くの方々に社交ダンスを知っていただき、以前踊っておられた先輩の愛好家の方々にも改めてダンスの魅力を思い出し、すべての人々に楽しんでいただけるような事業を企画しております。

初心者のための講習会(7/26(土))は、諸事情により市報掲載には間に合わなかったのですが、以降(8/23(土))今週末に開催の「日立市民お楽しみダンススポーツ競技大会」(愛好者・競技者を含む参加・見学応援も無料)の企画がございます。9月には今回お問い合わせの「講習会」、(10/4(土))には、「第2回日立市DS連盟ダンスパーティー」を開催いたします。

お時間がありましたら、まずは、今週末(8/23 土)のお楽しみ大会を見にいらっしやいませんか？

楽しみにお待ちしております。